

令和2年6月29日

7月1日以降 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン(生徒向け)

県立猪名川高等学校

7月1日からの感染防止ガイドラインを下記のように示しました。熱中症にも気をつけながら、引き続きひとり一人が注意して感染防止に努めてください。

1 登校前に行うこと

○ 毎朝の検温

○ 熱があるとか、体調不良の場合

学校を休み、医師の診察を必ず受け、「感染の疑いがあるため登校しない方がよい」という診断を受けた場合は、出席停止とする。その場合は、診断書を取らなくても良いが、学校に診察結果を必ず知らせ、後日、受診証明となる書類を提出する。

○ 平熱の場合、手帳に体温を書き登校する。

(生徒昇降口での検温チェックはしません。)

2 登校時に行うこと

○ 基本的にマスクを着用し登校する。しかし、人と距離（1m以上）を取って歩く場合や自転車で一人、友達と会話をせず乗る場合は、熱中症防止のため、マスクを着用しなくてもよい。しかし、友達と会話をする場合は、その都度マスクを着用することを心がける。

○ 公共交通機関を利用する生徒は、必ずマスクを着用し、できる限り人との距離を取る。

○ 検温を忘れた生徒は、職員室前廊下で検温をする。

○ 熱がある場合は帰宅し、医師の診察を受ける。以下、上記と同じ。

○ 平熱の場合は教室へ行く。

○ 遅刻した時は、職員室前廊下で検温をする。 以下、上記と同じ。

3 教室に入る前に行うこと

○ 生徒昇降口で手のアルコール消毒を行うか、トイレの洗面所で石けんでの手洗いを30秒間行う。

4 教室内で行うこと

○ 座席は、できるだけ前後左右、他の生徒と距離を取って座る。

○ 向かい合って大声で話しはしない。

(必ずマスクを着用して大声を出さず会話をする。)

○ 室内では基本的にマスクを着用したままにいる。しかし、気温の上昇で、気分が悪くなりそうな場合や熱中症の心配がある場合は、マスクを外してもよい。その時は、向かい合っ  
ての会話はしない。

(飲み物を口にする時など、マスクを外す時は、向かい合っ

- 昼食時は、他の生徒と向かい合っでの食事はしない。（マスクを外した際は、向かい合っでの会話はしない。）できるだけ、他の生徒と距離（1 m以上）を取り食事をする。食事が終わったらマスクを着用する。
  - 他の生徒と一定の距離を、常に保つことを心がける。（密着はしない。）
- 5 トイレの後や昼食の前と後は、必ずアルコール消毒か、石けんでの手洗いをする。
- 6 清掃時に行なうこと
- 清掃の前と後には、必ずアルコール消毒か、石けんでの手洗いをする。
- 7 部活動での注意事項
- 3密（換気の悪い密閉空間、多くの生徒が密集、近距離での会話や発声）を避ける。  
特に、マスクを外した時は、大きな声で、向き合っでの会話はしない。
  - 活動前後の手洗いや、咳、くしゃみをする際は、マスクやハンカチ、袖、肘を使い口や鼻を押さえる。
  - タオル、コップ等の共用はしない。
  - 活動後、共有する用具を消毒する。
  - 部室の利用は少人数、短時間にする。
  - 屋内の活動は、こまめに換気を行ない、複数の生徒が触れる箇所の消毒を1日1回行なう。
  - 健康が優れない場合は、活動をしない。
  - 活動時間は短時間で効率的な活動をする。
- 8 帰宅時に行うこと
- 寄り道や人混みの中など、感染に繋がる行動をせず帰宅する。
  - 帰宅後すぐ、うがい薬でのうがいや石けんでの手洗いとアルコール消毒をする。

新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染する。

- ・飛沫感染・・感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口から鼻などから吸い込んで感染する。
- ・接触感染・・感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着する。他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染する。

## ◎感染防止として主に努めてほしいこと

- ① 他の生徒及び教職員と話しをする時は、必ずマスクを着用する。
- ② マスクを着用していても、必要以上に大きな声で話しをしない。
- ③ マスクを外した時は、向き合っで他の生徒と話しをしない。まして、大きな声で話さない。
- ④ 外から部屋に入る、またトイレの後、昼食の前後、清掃の前後は石けんで手を洗う。
- ⑤ 極力、人混みを避け、人との距離を保つことを常に心がける。